SHIBETSU ROTARY CLUB DISTRICT 2500 JAPAN

士別ロータリークラブ会報

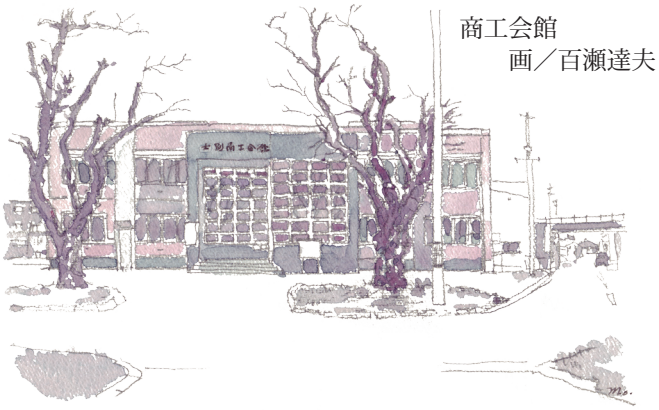
創立 1960・3・24　RI第2500地区　Vol. 040　No. 2347

地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度RI会長　レイ・クリンギンスミス

地域を育み、大陸をつなぐ

士別RCテーマ：
「ロータリーを見つめ、明日の地域へつなごう」



商工会館
画／百瀬達夫

●例会場／士別グランドホテル
●例会日／毎週月曜日　12：10～13：10
●事務所／士別グランドホテル　TEL 0165-23-1234
●会　長／神田　英一　●副会長／若森　　孝
●幹　事／宮崎　隆雄

第2429回例会　2011年6月20日（月）

本日のプログラム　・例会

前回（6月13日）の記録

・例会・理事会

司　　会	本山忠之会場監督
斉　　唱	国家斉唱・奉仕の理想
本日の出席	会員53名中　出席者39名　出席率73.58%　修正96.2%
本日の欠席	阿達　勇、岡田　晃、加藤　博、北村浩史、黒田康敬、佐藤元保、汐川泰晴、佐藤和彦、渡辺正一、中川涼一、川橋勝美、谷　温恵、今井　裕、宮田喜久三郎
メークアップ	神田英一、若森　孝、渡辺正一、阿達　勇、泉谷　勇、宮崎隆雄、伊藤優市、今井　裕、岡田　晃、菊地　博、尾崎　学、織戸俊二、加藤　博、大野裕一郎、北村浩史、國森和麿、黒田康敬、輿水広志、坂野虎渓、坂口芳一、佐藤元信、佐藤元保、佐藤安司、志村孝幸、汐川泰晴、菅原清人、高山　稔、武田　修、田中　全、谷　温恵、千葉繁夫、千葉道夫、近井孝義、中村徹雄、奈良康弘、野　英俊、深尾幸夫、藤吉敏博、福島栄三、松塚信雄、松永光司、宮田喜久三郎、三野博司、本山忠之、百瀬達夫、山口哲雄、山本　榮、山本俊一、鈴木　勉、佐藤和彦、以上50名（6月5日、インターシティーミーティングin士別）
ニコニコBOX	千葉道夫、近井孝義（6月誕生祝） 佐藤元信、神田英一（IM終了御礼）　　累計331,000円

例　会　予　定

●6月例会日（ロータリー親睦活動月間）

6月　5日（日）　IM（士別）
6月　6日（月）　特別休会
6月13日（月）　例会・理事会
6月20日（月）　例会
6月27日（月）　夜間例会

●7月例会日

7月　4日（月）　ガバナー公式訪問例会

■会務報告　神田英一会長

●６月５日に開催されました、第２分区インターシティミーティングおかげさまで、盛会のうちに無事終了することが出来ました。運営委員会佐藤安司委員長はじめ、各委員会委員長、並びに会員の皆様ご苦労様でした。士別 RC を代表して発表いただきました谷温恵会員には、青少年に対してのクラブでの係わり、幼稚園の園長として職業を通じて取り組み等大変すばらしい発表をしてもらいました、心から感謝いたします、ご苦労様でした。柴田ガバナーも前日の土曜日、当日の直らいまでご一緒していただきました大変お疲れの様子でしたが色々お話をいただき感謝しております。

●８日に次年度の理事会が開催されました。7 月 4 日新年度最初の例会がガバナー公式訪問と言うことで急ピッチで準備が進んでおります。

●６月９日汐川会員のお母様が亡くなりました、心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。12 日通夜、13 日葬儀の日程でした。多くの会員のお参りありがとうございました。また渡辺次年度会長の奥様が 11 日にお亡くなりになりました。心より哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈りいたします。14 日午後 7 時通夜、15 日 10 時葬儀、なかむら斎場さくらホールで行われます。

●ロータリーの友６月号の裏表紙１１ページに経営者の肥満防止の掲載があります。肥満の原因と、なぜいけないのか、予防、改善が書かれています、是非お読みください。

■幹事報告　宮崎隆雄幹事

1．例会終了後、理事会を開催致します。理事の皆様のご出席をお願い致します。
2．下川ＲＣ・美深ＲＣ５月の会報、6 月の例会案内が届いております。資料台に置いてございますのでご観覧下さい。
3．「ロータリーの友」・「ガバナー月信」の６月号が届いておりますのでお持ち帰り下さい。
4．RI 2500 地区ガバナー事務所より、2010 ～ 2011 年度の地区大会報告書が届いております。昨年の帯広地区大会に登録された 29 名分しか御座いません。登録をした会員は資料台に置いてございますのでお持ち帰り頂きますようお願い致します。

■委員会報告

●国際奉仕委員会　藤吉敏博委員長

４月と５月の夜間例会で会員の皆様に御協力を頂きました世界飢餓救済のための募金ですが、25,000 円位集まりましたので会から少し足しまして 30,000 円と古切手と書き損じのハガキを寄付させて頂きました。大変御協力をありがとうございました。

■次年度報告

●伊藤優市次年度幹事

1．23 日㈭午後５時 30 分より第２回クラブ協議会を開催致します。７月４日㈪のガバナー公式訪問に関しての打合せですので、委員長欠席の場合は委員会メンバーの代理出席をお願い致します。
2．７月２日㈯のふれあいの夕べの会券が届いておりますが、次年度社会奉仕委員会がすでに販売し完売致しましたと報告を頂いております。御協力ありがとうございました。
3．７月４日㈪ガバナー公式訪問の件ですが、７月４日のクラブ協議会終了後、クラブ会員全員で写真撮影を行います。当日は 11 時 45 分までに会場までお集まり下さい。

■その他の報告

●ガバナー補佐　佐藤　元信

佐藤安司ＩＭ運営委員長他、会員の皆様の御協力で無事に終了致しました、大変ありがとうございます。また、ガバナー補佐の地区からの活動資金並びに分区からの活動資金は義援金として今回はＩＭ開催地へ出させて頂こうと会長とも相談して進めたいと思っておりますのでご理解を宜しくお願いいたします。

●ゴルフ同好会　幹事　神田英一

６月 25 日㈯にライオンズクラブ様との対抗戦を開催致します。スタートは 13 時と成っておりますので、出来るだけ大勢の会員のご出席をお願い致します。

★今月（６月）の誕生祝い★

千葉道夫会員・近井孝義会員・
中川涼一会員・谷　温恵会員・

インターシティー・ミーティングin士別

2011年６月５日㈰　午後１時から

会場：士別グランドホテル

ＩＭ基調講演

士別市教育長　安川登志男 氏
演題　「新たなる地域文化の創造」
―文化自給圏の形成をめざして―

士別ロータリークラブからは毎年寄付をいただき、お世話になっている。

市では子どもたちが学校に本を持参したり、図書館から借りて15分の朝読書を行っており、市内のほぼ100％を達成している。

読書によって精神的に安定し、スポーツ面でも精神的に鍛えられるということで、その効用が注目されている。

こどもたちは情報の荒波にさらされており、これを救うのは読書。

かつて士別では市民文芸や子どもたちの文集士別が存在していたが、文集士別の復刊に向けて準備を進めている。

言葉や文字はいつの時代でも重要。

朝日ではサンライズホールを中心に子どもたちが様々なワークショップを行っている。学校では主要５教科の苦手な子どもたちも演劇やダンス、照明などで得意な子どもたちがいる。

文化について考えたとき、ほとんどが東京で生産されている。北海道は買うのみ。地域から売り物を作って、外部に売れないものなのか。地域発という文化がこれからは大切。

地域で作り上げたものをしっかりと売り出していく。その営みが魅力を発揮する。

子どもにスポットをあて、子どもの読書活動、芸術表現活動を少しでも支援していきたい。

ロータリークラブの力に期待しています。

ミーティング

テーマ「地域を育む、奉仕活動」

■下川ＲＣ　武藤　登 氏

わが町は読書活動の推進のために、昭和46年から教育委員会を通じて、これまでに1790冊、訳50万円分を寄贈してきた。

「森とスポーツのまち」ということで、ジャンプ少年団の育成を支援し、４人のオリンピック選手を輩出した。少年団を支える父母、指導者もいる。少年団は今20人前後がいる。

支援を行っている剣道少年団の小学生は全道に行っても全戦全勝。かつて80人ほどいたが、今は３分の１程度だが、頑張っています。

英語助手が下川に来た関係でカナダのケノーラ市（オンタリオ州）と10年前に姉妹提携を結びました。

■美深ＲＣ　宮原宏明 氏

社会奉仕委員会を中心にロータリー公園の早朝奉仕活動では90％以上の出席を誇り、高い関心を示しています。

本を読ませたいと、美深小学校に少しずつですが、毎年図書券を寄贈しています。

少年団全道大会出場への寄付金の贈呈、あるいは交通安全街頭の啓発でビラと美深産のジャガイモを配布しました。

末永く続くような身の丈に合った確かな実践を持っており、今後も活動していきたい。

■枝幸ＲＣ　中美勝秀 氏

組織としては特別な活動はしていないが、メンバー個々に実践をしている。

たとえば板前さんのメンバーでは、子どもたちに魚のさばきや、ニンジンなどをきれいに盛りつけるのを見せ、子どもたちの興味を高めている。

また図鑑ではなく、漁師特有の魚の呼び方を教えたりして、子どもたちの関心を高めている。

■名寄ＲＣ　木内　忍 氏

まず昭和34年に、ロータリークラブが発

足したのを記念して、ボーイスカウト育成を行い、今日まで継続して支援している。ロータリーの会員全員がボーイスカウトの賛助会員にもなっている。
　名寄ロータリークラブ独自として昭和37年に奨学金制度を設け、当初は大学生が対象でしたが、昭和52年から高校生にも広げています。
　この他、定時制高校に通う優秀高校生の表彰、周年事業として記念植樹、市立病院へのモザイク壁画などもあります。
　また名寄ローターアクトクラブの創設（昭和50年）です。会員減少が悩みですが、困難を克服して足跡を刻んでいってほしいと思います。

■中頓別ＲＣ　細谷陽一 氏
　子どもたちとともに地域行事への参画のために小学生を対象にアンケートを実施。その結果、一番多かったのがツリーハウスの建設でした。自然を体験してもらい、ものづくりの気持を育てようと、建設に着手しました。
　ツリーハウスとは通常、樹上または樹中にに高板式に建てられたもので、生きている木を土台にします。
　実際にツリーハウスを見て、子どもたちも企画書の作成に参加。地球環境問題や安全対策、工具の使い方など、子どもたちの意見も取り入れた。
　地域の子どもたちにもものづくり環境教育、全国に広がる仲間を作る、働く楽しさと共同の場を体験することを観点としました。

■士別ＲＣ　谷　温恵 会員
　士別ロータリークラブは様々な地域を育む奉仕活動を行っています。交通安全運動（交通安全旗の波）、社会福祉活動（ふれあい広場）などの参加、青少年スポーツの育成（サフォークランドサッカー大会）、新世代に対する支援などがあります。
　そのひとつ先日行われた「わんぱくフェスティバル」を取り上げたいと思います。
　このフェスは子どもたちが主体となる祭りで、今年で15回目です。子どもたちがアイデアを出し、工夫しながら取り組み、大人たちがバックアップをします。
　このイベント後、子どもたちは声を掛け合ったり、小さな子の世話をするようになったり、自らの体験を自らの言葉で話すようになりました。

　地域の奉仕を考える時、小さな子どもであっても社会の一員として、この街で安心感に包まれながら、自分たちで出来ることを学び、励むことができると思います。
　またよりよい環境を作ることが大人たちの使命だと思います。

【柴田和明ガバナー所感】
　ＩＭの進行も素晴らしい発表でした。
　この地区からも震災に対して多大なご寄付をいただいています。ありがとうございます
　ロータリーの仲間も大震災の犠牲になっています。あの地区だけで17人が犠牲となり、そのうち12人の死亡が確認されています。
　会員の自宅全壊も66件、半壊33件。会社も98店が全壊しました。その他、
　みなさんの浄財は約８億円に達しました。何に使うかガバナー会でも論議中ですが、盛岡で４回目のガバナー会を行うことにしています。その中で、趣旨としてはこちら側からただやるだけではどうなのだろう、もらった方も何につかうのだろう、何から手をつけるのか、問題もあるだろう。そこでガバナー会（34人）としては赤十字に回しては使い道がはっきりしないという苦情もあり、ロータリー自ら方向性を決め、会員に逐次お知らせすることにした。青少年の育英資金にしてはということで、まとまりつつあります。
　本日のＩＭは素晴らしかった。奉仕はロータリーの原点。奉仕というのもはお金を出す、物を出す、考え方の支援を出す。ひとつ忘れてはならないのは、我々が例会に出席し、人と地域社会の出合いを深め、異業種と知り合い、人間性を勉強し、切磋琢磨してほしい。
　さらに留学生との交流を深めてほしい。留学生は出来るだけ小中学生と接点を持つ機会を作ってほしい。青少年の未来志向を考えれば、海外の人たちとつきあい、グローバルな世界に見合った人間性が育っていく。
　若い人は感性が強い。地域社会との交流の場を作ってあげ、世界に通用する人間を育てるということを念頭に入れてほしい。
　汗をかく奉仕が、地域社会との接点に通じていく。

内容は骨子のみです。
（記録文書・記録写真：北村浩史会員）